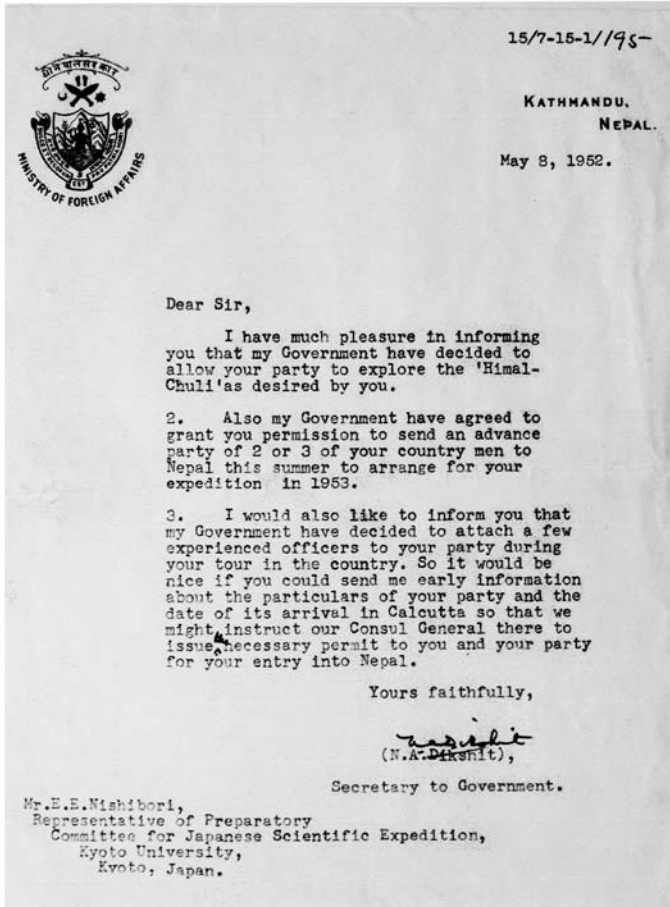


# 日本山岳会所蔵資料紹介 No.1

[資産番号] 00046  
 [資料名] ネパール政府からのマナスル登山許可証  
 [部門名] 書簡(ほかにマナスル関係11通)  
 [寄贈者] マナスル登山隊  
 [受入日] 不明



1952年5月8日付け、外務省公文15/7-15-1/195、京都大学日本学術探検隊準備委員会代表西堀栄三郎宛。踏査登山隊および第1次マナスル登山隊へのネパール政府からの許可証。ほかに2次隊、3次隊への許可証など11通の関係書簡がある。

1956年5月、日本山岳会はマナスル(8163m)に世界で初めて挑戦し、登頂に成功。だが、計画から登山許可証取得まで、非常に困難を極めた。第2次世界大戦後の1952年、サンフランシスコ講和条約が発効されるまで、日本は独立国として認められていないうえ、ネパールとの国交もなく入国は困難な時代であった。そんな時代背景のなか、登山許可証を獲得するため、西堀栄三郎氏が許可交渉に粘り強く取り組み、そして関わった多くの人々の力が集結され、登頂成功へと導かれた。

この登山許可証は、日本山岳会の歴史において最も古いものである。

なお、日本山岳会ホームページ→委員会活動→資料映像委員会→所蔵資料紹介へとアクセスすると、「会報ページそのもの」+「解像度の高い英文許可書のみ」を拡大して見ることが出来ます。活用ください。

また、公開資料に関する情報・ご意見・ご教示など、下記までお寄せください。

✉jacshiryoy02@jac.or.jp

(資料映像委員会)

## ◆編集後記◆

● 3・11以降たゆまず続けてきた芳山の登山道の放射線測定について、報告いただいた。実に地道な作業であり、終わりの見えない真つ暗なトンネルのなかを歩まなければならぬ問題でもある。日本山岳会の会員の皆さんからも、被災地の現状や地震や放射能汚染の被害を受けている山岳地域についてレポートいただきたい。

● P19の資料紹介は、資料委員会メンバーであり会報編集担当の奈良千佐子さんを中心となった新連載。会には資料や絵画が多数ある。一部はルームに展示してあり、訪れた会員が目にもすることもあるが、東京近郊の会員に限られる。貴重な資料を紙面で紹介すれば、各地の会員の方々に見ていただけるだろうという試みです。(柏澄子)

## 日本山岳会会報 山 815号

2013年(平成25年)4月20日発行  
 発行所 公益社団法人日本山岳会  
 〒102-0081  
 東京都千代田区四番町5-4  
 サンピューハイツ四番町  
 TEL 東京(03)3261-4433  
 FAX 東京(03)3261-4441  
 発行者 日本山岳会会長 尾上 昇  
 編集人 柏 澄子  
 E-メール:jac-kaiho@jac.or.jp  
 印刷 株式会社 双陽社